

竜神崎地区の防波堤消波外復旧

＝釜石港湾事務所＝

天神町5号線新設など

釜石市財政課
条件付

三陸北部森林管理署 半崎林道の復旧・改良など

南川の暫定掘削

＝盛岡市財政部＝

内訳書は18日まで



盛岡市財政部

盛岡市財政部は10日付で、一般競争入札で実施する一級河川南川暫定河道掘削その2工事を公告した。入札参加希望者は、入札書と参加資格確認申請書、工事費内訳書を18日9時から15時までに提出すること。開札は翌19日に予定されている。

▽一級河川南川暫定河道掘削その2工事

施行地 盛岡市津志田4地割外地区
工期 91日間(連休加算7日間を含む)
工事概要 暫定河道63m、護岸撤去工1式
入札参加資格 土木一式工事甲Cの者で、現場代理人、主任技術者または監理技術者、専門技術者を工事現場に配置できる者であること一など
入札書・参加資格確認申請書等の提出 2020年3月18日9時から15時まで
開札予定日時 2020年3月19日11時40分

奥州市財政課

奥州市財政課は、本庁舎4階汚水配管及び通気管改修他工事を指名通知した。入札は12日に行われる。

▽本庁舎4階汚水配管及び通気管改修他工事

施行地 奥州市水沢大手町一丁目1番地内
工期 2020年3月31日
入札日時 2020年3月12日9時30分

一関市総務課

一関市総務課は10日付で、制限付一般競争入札で実施する一関市立一関小学校トイレ改修工事など5件を公告した。参加申し込みは24日17時まで、入札は25日を予定している。

▽一関市立一関小学校トイレ改修工事

施行地 一関市字鳴神地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立一関中学校トイレ改修工事

施行地 一関市真柴字中田地内
工期 110日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立千厩中学校トイレ改修工事

施行地 一関市千厩町千厩字上駒場地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕

小・中学校のトイレ改修5件を公告

＝一関市総務課・制限付＝

参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

▽一関市立室根中学校トイレ改修工事

施行地 一関市室根町矢越字五反田地内
工期 150日間
工事内容 管工事〔トイレ洋式化改修一式〕
参加資格 2019・20年度一関市建設業者登録台帳の管工事B級I種

土工V＝290㎡、植生工A＝250㎡、重力式擁壁工L＝9m、樹脂製擁壁工L＝8m、アスファルト舗装工A＝21㎡、防護柵工L＝42m

入札参加条件 釜石市営建設工事等請負資格者名簿登録業者(市内業者)で、「土木」工事B級登録業者であること

入札予定時間 9時50分

▽鶴住居32号線道路災害復旧(1災129号箱崎の4)工事

施行地 釜石市箱崎町第7地割地内

工期 2020年3月31日限り

工事内容 復旧延長L＝96.6m、盛土工V＝153㎡、法面工A＝70㎡、重力式擁壁V＝7㎡、舗装工A＝24㎡、防護壁工L＝8m、区画線工L＝19m

入札参加条件 釜石市営建設工事等請負資格者名簿登録業者(市内業者)で、「土木」工事C級登録業者であること

入札予定時間 9時55分

▽鶴住居20号線道路災害復旧(1災271号外山)工事

施行地 釜石市鶴住居町第30地割地内

工期 2020年3月31日限り

工事内容 復旧延長L＝18.1m、コンクリートブロック積工A＝37㎡、小口止工N＝2カ所、側溝工L＝13m、舗装工A＝45㎡、工事用道路L＝28m

入札参加条件 釜石市営建設工事等請負資格者名簿登録業者(市内業者)で、「土木」工事C級登録業者であること

入札予定時間 10時

▽八雲町1号線道路災害復旧(1災176号八雲・1災177号八雲の2)工事

施行地 釜石市八雲町地内

工期 2020年3月31日限り

工事内容 (合柵)As表層工(再生密粒度20F t＝5cm)A＝481㎡、上層路盤工(粒調碎石M-40 t＝15cm)A＝492㎡、(八雲)As表層工(再生密粒度20F t＝5cm)A＝226㎡、上層路盤工(粒調碎石M-40 t＝15cm)A＝231㎡、(八雲の2)As表層工(再生密粒度20F t＝5cm)A＝255㎡、上層路盤工(粒調碎石M-40 t＝15cm)A＝261㎡

入札参加条件 釜石市営建設工事等請負資格者名簿登録業者(市内業者)で、「舗装」工事B級登録業者であること

入札予定時間 10時5分

▽上平田川河川災害復旧(1災267号上平田の2)工事

施行地 釜石市大字平田第2地割地内

工期 2020年3月31日限り

工事内容 復旧延長L＝38.0m、コンクリートブロック積工A＝88㎡、小口止工N＝4カ所、根固メブロック工(新設)N＝20個、根固メブロック工(再設置)N＝15個、底張コンクリートV＝11㎡、工事用仮設道路L＝35.0m

入札参加条件 釜石市営建設工事等請負資格者名簿登録業者(市内業者)で、「土木」工事B級登録業者であること

入札予定時間 10時10分

▽林道尾崎線災害復旧工事

施行地 釜石市大字平田地内

工期 2020年3月31日限り

工事内容 被災箇所1カ所 全体復旧延長L＝223.0m、【1号個所】復旧延長L＝223.0m、土工一式、法面工A＝95.5㎡、擁壁工V＝44.0㎡、舗装工A＝620.5㎡、路盤工A＝248.1㎡、防護柵工L＝56.5m、仮設一式、構造物撤去工一式

入札参加条件 釜石市営建設工事等請負資格者名簿登録業者(市内業者)で、「土木」工事C級登録業者であること

入札予定時間 10時15分

▽林道大骨線災害復旧工事

施行地 釜石市両石町および鶴住居町地内

工期 2020年3月31日限り

工事内容 被災箇所3カ所 全体復旧延長L＝372.0m、【1号個所】復旧延長L＝79.0m、土工一式、排水構造物工一式、舗装工A＝17.3㎡、防護柵工L＝

14.5m、構造物撤去工一式、【2号個所】復旧延長L＝75.0m、土工一式、排水構造物工一式、構造物撤去工一式、【3号個所】復旧延長L＝218.0m、土工一式、舗装工A＝667.9㎡、防護柵工L＝198.0m、構造物撤去工一式

入札参加条件 釜石市営建設工事等請負資格者名簿登録業者(市内業者)で、「土木」工事B級登録業者であること

入札予定時間 10時20分

▼以上11件

申請書の提出期限 2020年3月16日17時

入札予定月日 2020年3月19日

釜石港湾事務所

東北地方整備局釜石港湾事務所は10日付で、一般競争入札で実施する宮古港竜神崎地区防波堤(災害復旧)消波外工事を公告した。入札参加希望者は申請書を電子入札システムにより、19日16時までに提出すること。入札締切は4月3日正午。

▽宮古港竜神崎地区防波堤(災害復旧)消波外工事(施工能力評価型II型、施工体制確認型)

施行地 宮古市高浜地内

工期 2020年10月30日まで

工事内容 被覆・根固工1式、消波工1式

入札参加資格 東北地方整備局「港湾土木工事」BまたはC等級。2004年4月1日以降に元請けとして、完成・引き渡しが完了した同種工事【消波ブロックまたは被覆ブロックを製作した工事】の施工実績を有すること。岩手県内に建設業法に基づく本社(本店)、支店または営業所が

所在すること

申請書の提出 2020年3月19日16時

入札締切 2020年4月3日正午

開札日時 2020年4月28日9時30分

岩手北部森林管理署

東北森林管理局岩手北部森林管理署は9日付で、一般競争入札で実施する北ノ又地区第四地すべり防止工事を公告した。入札参加希望者は技術提案書などを電子入札システムにより24日16時までに提出すること。入札締切は4月8日16時。

▽北ノ又地区第四地すべり防止工事(簡易型、施工体制確認型)

施行地 八幡平市松尾寄木字北ノ又山国有林1561林班地内

工期 2020年12月25日まで

工事内容 水路工、ポーリング暗渠工ほか

入札参加資格 岩手北部森林管理署または盛岡森林管理署、三陸北部森林管理署、三陸中部森林管理署、岩手南部森林管理署、遠野支署の管轄区域内の市町村に建設業法に定める本社、支店または営業所を有すること。東北森林管理局「土木一式工事」B等級、C等級またはD等級。2005年4月1日以降に元請けとして、同種工事【林道規程に定める自動車道の林道またはこれと構造・規格が同程度の森林整備事業用作業道(治山資材運搬路を含む)もしくは保安林管理道の新設・改良・災害復旧工事(設計図書に基づく工事に限る)】を施工した実績を有すること

技術提案書などの提出 2020年3月24日16時まで

入札締切 2020年4月8日16時

開札日時 2020年4月9日10時

三陸北部森林管理署

東北森林管理局三陸北部森林管理署は9日付で、一般競争入札で実施する半崎林道災害復旧・改良工事など3件を公告した。入札参加希望者は24日16時までに、技術提案書や申請書などを電子入札システムにより提出すること。入札締切は4月10日16時。

▽下沢沢林道改良工事(簡易型運用版)

施行地 岩泉町大川字兜森国有林507林班

工期 2020年11月30日まで

工事内容 コンクリート擁壁ほか

入札参加資格 三陸北部森林管理署または三陸北部森林管理署久慈支署、岩手北部森林管理署、三陸中部森林管理署、盛岡森林管理署、岩手南部森林管理署、遠野支署の管轄区域内の市町村に建設業法に定める本社、支店または営業所を有すること。東北森林管理局「土木一式工事」B等級、C等級またはD等級。2005年4月1日以降に元請けとして、同種工事【林道規程に定める自動車道の林道またはこれと構造・規格が同程度の森林整備事業用作業道(治山資材運搬路を含む)もしくは保安林管理道の新設・改良・災害復旧工事(設計図書に基づく工事に限る)】を施工した実績を有すること

開札時間 10時30分

▽半崎林道災害復旧・改良工事(簡易型運用版)

施行地 山田町船越字半崎国有林31林班

(7面へつづく)

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



想定外ということ

岩手大学理工学部システム創成工学科教授・地域防災研究センター副センター長 越谷 信

2011年の東日本大震災の発生から9年の歳月が流れた。その時の地震津波発生以降も、日本列島は多くの自然災害の襲来を受けてきている。地震では、東日本大震災をもたらした東北地方太平洋沖地震(M9.0)直後にマグニチュード7クラスの地震がその震源域周辺で5個も発生した。その後も、活断層により地表変位をもたらした2014年長野県神城断層地震(M6.7)、250名以上の死者をもたらした2016年熊本地震(M7.3)、ブロック塀の倒壊などにより死者をもたらした2018年大阪府北部の地震(M6.1)、北海道全域で停電を引き起こした2018年北海道胆振東部地震(M6.7)、陸に近い海底で発生し津波を生じた2019年山形沖の地震(M6.7)が発生した。火山噴火では、2014年9月の御嶽山の水蒸気噴火や2018年1月の草津白根山の水蒸気噴火により人命が失われている。また、2014年広島県土砂災害、2015年関東・東北豪雨、観測史上初めて三陸から上陸した2016年台風10号による災害、2017年九州北部豪雨、岡山県や広島県に甚大な被害をもたらした2018年7月豪雨、三陸沿岸地域に被害をもたらした2019年台風19号による災害などの風水害も頻発している。例えばあまりよくないが、天災は忘れる間もなくやってくるという有り様である。

これら一つ一つの災害について、その発生のメカニズム、事前のハード・ソフト防災対策、被害の要因について十分に検証し、今後の災害に備える必要があることに異論はないであろう。それらの結果を生かして、復旧や復興が進むことが望まれる。このようなことを考えるときに気になる言葉がある。「想定外」である。もちろん誰も自然災害の発生は望んではいないが、残念ながら、被害が発生してしまう。その意味では、これらの災害は「想定外」であったということになる。洪水災害では、確かに事前に公表されている浸水予測ハザードマップと被害をもたらした浸水範囲がほぼ一致に重なるようすが報道で紹介されているが、被害は生じてしまった例がある。やはり災害という点では「想定外」といってもいいのではないだろうか。

この「想定外」という言葉を考える上で優れて示唆的な文章がある。失敗学で有名な畑村洋太郎氏は、「想定」という言葉を「問題設定(課題設定)」、想定内のことを考えることを「問題解決(課題解決)」という言葉に置き換えると、わかりやすい人が多いかもしれません。両者で難しいのは、圧倒的に問題設定の方です」と述べている。さらに、「人はなにかを企画したり、計画したりといった『考えをつくる』ときは、まず自分の考える範囲を決めます。この境界を設定し、考える枠を決めることが『想定』なのです」とし、「想定」の定義を与えている。確かに、

私たちはある枠＝「想定」なくして、物事を考えることはできない。そしてその枠はしばしば自分のよく知っている範囲に限定してしまう傾向が強いように思える。しかしながら、災害を考えるときにはこの傾向をできるだけ排除し、多くの異なる視点からの検討が必要である。

たとえば、谷底平野あるいは丘陵地の近くの平坦地に何か建物を作ることを考えてみよう。自然科学である地学の観点からすれば、谷底平野の河川のそばに平坦地があれば、これは時として発生する洪水によって、土砂が堆積して平坦化したと考える。あるいは、丘陵地から平野に至る河川は、山地の出口に扇状地を形成し、比較的傾斜の緩い土地を形成する。そのような平坦な土地は、建物を作るのには便利かもしれない。しかしながら、そのようなところに人々を集めるのであれば、場合によっては、高齢の人を集めるような施設をつくるのであれば、河川の氾濫を受ける潜在的可能性があることを考慮して、それなりの対策や対応をしておかなければならない。さまざまな社会的条件により、そのような場所を選択しなければならぬかもしれないが、自然は自然のルールに従って淡々と様々な現象を引き起こすだけである。

さらに、自然災害が自然の力によってもたらされるということを考えるとき、自然を征服するのではなく、うまくその力を利用するという観点を導入するのはどうであろうか。前述の畑村氏のいうように「いなし」とか「すかすか」という方法で柔軟に対処することを提案している。もちろん、この場合には、防災施設だけの対応ではなく、避難や防災意識の啓発などのいわゆるソフト対策を組み合わせることで解決の糸口を見いだせるかもしれない。逆に、ソフト対策が有効に機能するためには、まちづくりや防災施設の設計もそのことを念頭に置く必要がある。従来から指摘されていることではあるが、ハードとソフトの総合対策を目指さなければならぬ。本来、自然の力を押さえ込むことはできないのだから、災害を直接的あるいは対抗的に防ぐことは難しい。むしろ、自然の力を「いなし」で自然との共生を探る方も考えてはどうだろうか。

このように考えると、災害対策は、一筋縄ではいかない。自然災害発生の様々な側面を有機的に関連させ、防災力を高めたい。自戒の念を込めて、寺田寅彦のいう「すべてのものがただ外見だけの間に合わせもので、ほんとうに根本の研究を経たものでない」とすと、実際われわれは心細くなる。質の研究のできていない鈍刀はくらくら光っていても格好がよくできていてもまさかの場合に正宗の代わりにならない」という文章を肝に銘じたいと思う。